令和6年度施策評価シート（評価対象年度：令和5年度）

基本政策【分野】	都市基盤が整った 快適で暮らしやすいまちづくり 【都市基盤分野】	施策	29_景観	所管部長 取りまとめ所属	都市部長 都市政策課
施策の内容	地域の個性と魅力を生かしたまちづくりを実現するため、建築物や公共施設などの適切な景観誘導を図るとともに、市民参加・協働による景観まちづくりを推進します。				
めざす姿	大山の眺望や緑豊かな美しい風景などの伊勢原らしさを生かした良好な景観の形成により、誰もが住み続けたいと思える愛着のあるまちとなっています。				
重点事業					
施策構成事業	景観まちづくり推進事業費				

評価

進捗評価	順調	評価の判断理由	景観まちづくり推進事業においては、景観計画の見直しをスケジュール通りに進め、年度内の改定を行うことができました。また景観の普及啓発事業も例年並みの規模・内容で実施することができました。
施策推進上の課題・環境変化	見直しを行った景観計画に基づく良好な景観形成のためまちづくりを推進する必要があります。特に、景観誘導に当たって基準となる「景観形成基準」について、これまでの景観協議の実績や社会情勢の変化等を踏まえて見直しを行ったことから、この新たな景観形成基準の周知浸透を図る必要があります。		

評価の経過	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	順調				

施策推進の方向性

方向性	継続
総評・今後の施策推進方針	景観条例、計画に基づく制度運用により引き続き良好な景観形成に資する景観誘導を着実に進めていきます。 景観写真展や地域景観資源登録制度等の普及啓発事業により良好な景観の形成に関する市民の意識醸成を図り、市民の本市に対する愛着を深めていきます。

成果指標

成果指標名 指標の定義	現状値	R５ 実績値	R６ 実績値	R７ 実績値	R８ 実績値	R９ 実績値	R９ 目標値(方向性)
景観協議の件数 建築物の建築や公共施設の整備等の景観協議を行った件数	351件 (R3)	397件					651件
地域景観資源登録数 地域景観資源の登録数	22件 (R3)	28件					43件
伊勢原らしい景観が保全されていると思う市民の割合 市民意識調査で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合	38.8% (R4)	43.2%					↗

重点事業の取組内容

事業名	
事業内容	―

取組工程	項　目	令和5年度 計画	令和5年度 実績
	―	―	―

令和5年度取組内容	―

重点事業以外の取組内容	
令和5年度 主な取組内容	●建築物の建築や公共施設の整備等の景観誘導を行うとともに、今後の新たな景観まちづくりの指針とするため、計画期間を迎えた伊勢原市景観計画及び景観ガイドラインを改定しました。 ●普及啓発事業については、景観写真展の開催や横浜銀行シティプロモーションコーナーにおける地域景観資源の紹介等を実施しました。